

爲近衛關白左大臣尙嗣公北政所 寛永十三年十一月廿三日嫁于近衛殿 同十四年十

二月八日内親王宣下○節

〔百一錄〕元祿十五年八月廿六日、近衛關白○基 御臺級宮子○常 御方薨御、六十四歲、號無上法院、後水

尾院姫君、廢朝三箇日、市井同斷禁之、

〔百二錄〕貞享三年七月廿三日、後西院姫宮賢宮子○益 爲内親王、上卿、今出川大納言、八百宮御妹也、

廿五日、今夜九條大納言殿實○輔 御簾入于賢宮御方、中筋通故准后新廣儀門院舊御所云々、廿七

日、賢宮移徙于九條殿新造之御殿、從二條辻固勤之、前驅殿上人、扈從公卿三輩、綾小路、清閑寺相公、
伏原三品、

〔執次詰所本御系譜〕

靈元院

吉子内親王

正德四年八月廿二日生、號八十宮 同五年八月廿七日爲征夷大將軍家繼公川○德 御臺所

同六年二月十八日有結納之儀、東使阿部豐後守正喬 同四月三十日家繼公薨去、依之

在住皇都、享保十一年十一月廿八日内親王宣下○節

〔基熙公記〕正德五年五月廿三日戊午、前攝政被來、今度於關東執權中、兩傳奏へ申旨有之、大樹御嫁
縁之事也、申請院姫宮度云云、子細難記之、只歎息而已、兩傳奏今日可奏、院云云、委事前攝政可有注
記、嗚呼々々、遣書狀東武有要用故也、依上件事、自前攝政被遣飛脚了、

〔有章院殿御實紀十三〕正德五年九月廿九日、群臣總出仕あり、法皇○靈の姫宮御定婚あり、御入興
あるべきよし仰出さる、十月三日、御定婚により、日光山御宮に代參使を立らる、五日、阿部豊